



＊おいしい水道水で作る＊
旬の果物をゼリーで包んで…
いちごのゼリー

- ① 粉ゼラチン(6g)は5倍の水(30ml)を加えてよく混ぜ、2～3分ふやかしておく。
- ② 鍋に水(200ml)と砂糖(50g)といちごシロップ(大さじ2)を入れて火にかける。
- ③ 沸騰し砂糖が溶けたら、火から下ろして、①のゼラチンを加えて混ぜる。
- ④ 粗熱が取れたら、いちごリキュール(大さじ2)を加え冷ます。
- ⑤ いちごはへたを取り、縦に3～4等分する。
- ⑥ 製氷皿にいちごを入れ、④を流し入れ冷蔵庫で冷やし固める。

ビタミンCが多く、有害な活性酸素から細胞を守る抗酸化ビタミンで、血管の老化を防いだり、がんやストレスをブロックします。

サービス向上とコスト削減の両立を目指しています。

「ご存じでしたか？」 水道事業は「独立採算」

〔水道事業会計は、市の会計とは分離しています。お客さまからお預かりした水道料金で、民間企業と同様の会計制度を採用し、独立した経営を行っています。〕

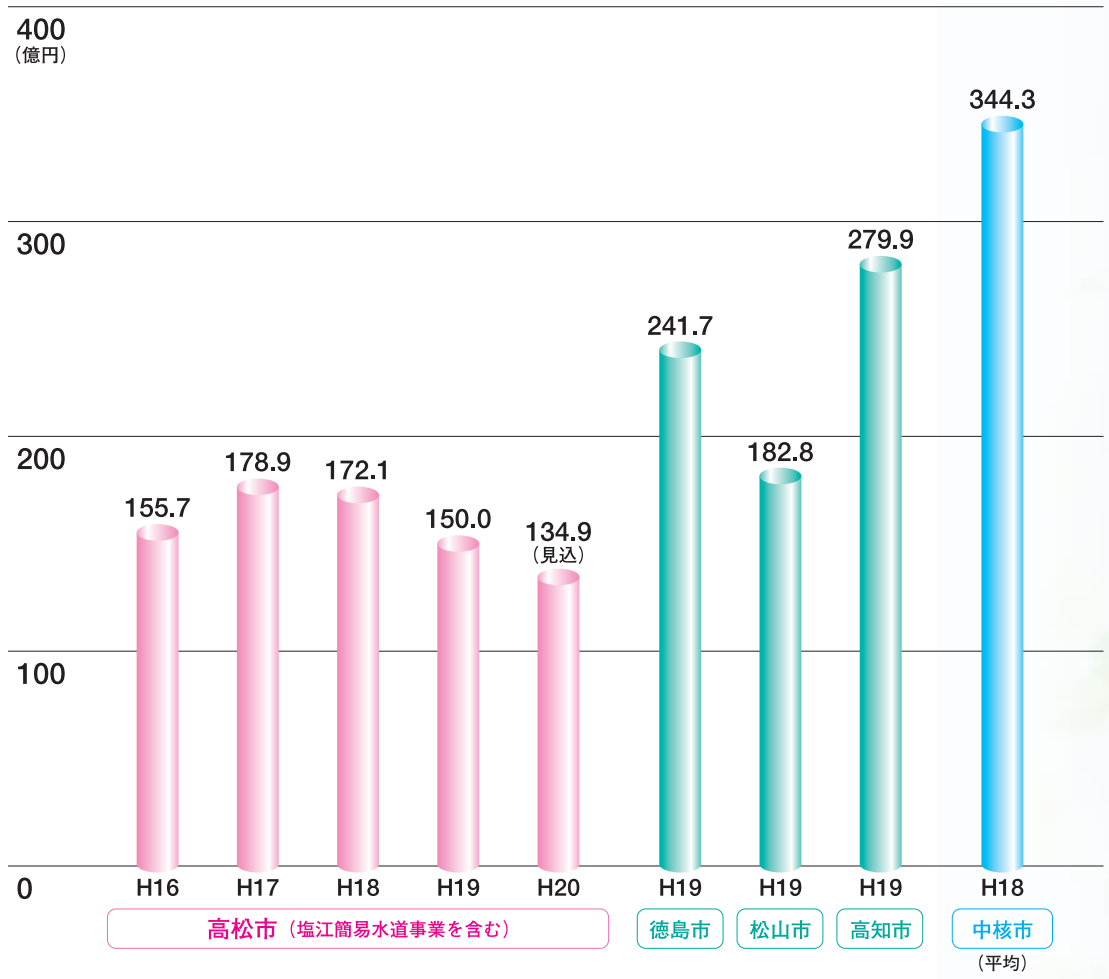
どうしてお金を借りているの？

安全な水道水を安定してお届けするためには、水道施設の建設や改良が必要です。しかし、水道施設の建設などには一度に多額の費用がかかります。そこで、不足する資金を国などから借り入れています。

水道事業は独立採算ですので、必要な経費のほとんどはお客さまの水道料金で成り立っています。お客さまからお預かりした水道料金は水道水をつくるための費用や配水管の維持管理費用など、水道水をご家庭まで送り届けるために使われています。

高松市は、下記グラフのように他市に比べると借入金が少ない比較的稳定した経営を維持していますが、さらに、経営の健全化を図りながら安定した水の供給とサービスの向上に努めています。

借入金(企業債残高)の推移と比較



収益的収支 (塩江簡易水道事業を含む)



お客さまからお預かりした水道料金は、水道水をつくり、安全にご家庭まで送り届けるために使われています。(下記グラフ参照)

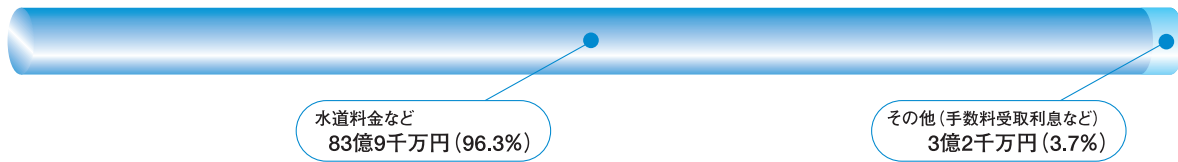
その内容は、ダムなどから取水した水を浄水場で浄水し水道水にするための費用や、県営水道用水供給事業から水道水を購入する費用、ご家庭まで続く配水管などの維持管理費用、水道メータの検針費用や水道料金を徴収する費用などになっています。

また、鉛製給水管の取替え事業にも使われています。

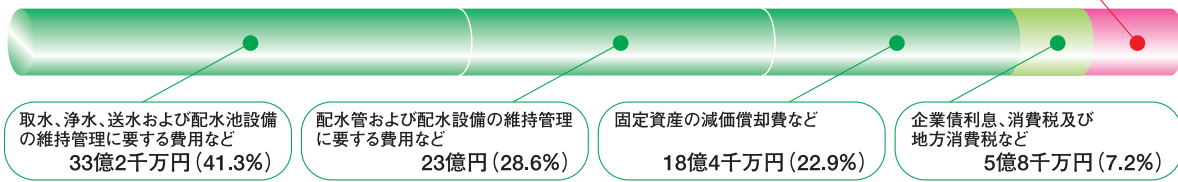
私達の水道料金は何に使われているの？

A 水道水をつくり、ご家庭に送り届けるために使われています。

収入 **87億1千万円**



支出 **80億4千万円**



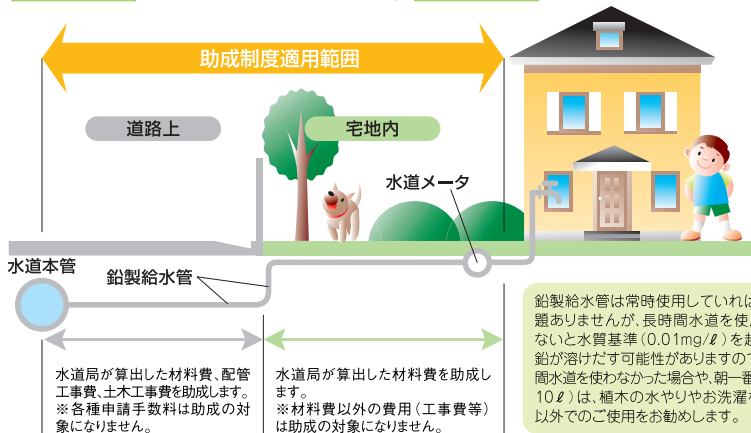
水道料金は「鉛製給水管」の取替工事にも使われています。

鉛製給水管の取替工事費用は **23億円の約1割… 2億6千万円**

水道局では、漏水防止と、より安全な水を供給するために、鉛製給水管の引替工事助成制度を設け、「鉛製給水管」の取替えを推進しています。

鉛製給水管引替工事に対する助成金交付制度

助成対象 水道本管から水道メータまでの鉛製給水管を全部取り替える工事。
助成金額 道路上は水道局が算出した工事金額を、宅地内は水道メータまでの材料費を助成します。



水道料金などを使った各種事業

- 鉛製給水管取替事業
- アパート、マンションなどの小規模貯水槽点検啓発事業
- 消火栓等弁柱類維持管理業務
- 給・配水管の漏水修理および調査、漏水防止工事
- 配水管腐食状況調査業務

○詳しくは、給水維持課(☎839-2761)までお問い合わせください。



予算は110億9千万円

資本的収支 (塩江簡易水道事業を含む)

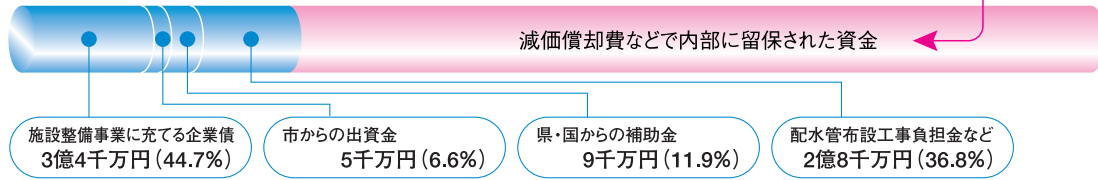
減価償却費ってなに？
 水道施設の建設や更新に要した費用を耐用年数に応じて配分した額のことです。水道施設をつくり替える際の財源として会計内に留保されるものです。

浄水場などの水道施設の建設や改良は、減価償却費などで内部に留保された資金を充てています。
 (下記グラフ参照)
 その内容は、幹線道路への配水管の布設や老朽化した配水管の取替え、合併町(香川町・庵治町・国分寺町)との相互連絡管の布設などの管網整備をはじめ、各浄水場の施設整備や更新、高地区配水池などの施設整備、水質検査機器の購入など安全な水道水を安定して供給するための施設の整備などになっています。

A 水道料金収入をもとに減価償却費など内部に留保された資金で補っています。その他、補助金・工事負担金・借入金などを充てています。

水道施設の整備などの費用はどのようにしているの？

収入 **7億6千万円** 不足 **22億9千万円**



支出 **30億5千万円**



水道管の老朽化による漏水防止と耐震性・耐久性の向上を図るために

老朽配水管の取替を順次行っています。

政府の中央防災会議専門調査会において、東南海・南海地震に備える必要がある防災対策推進地域に高松市も指定され、水道局では平成18年度から漏水防止と耐震性・耐久性の向上を図るために配水管の耐震化を進めています。

配水管布設工事の
総延長距離
 平成21年度計画
18,500m

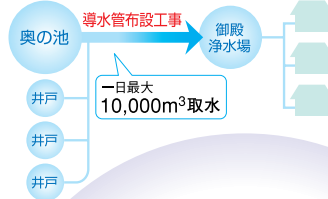
※配水管の布設工事は、上記の他、未給水地域の解消や出水不良地域の解消などを目的に行っています。



安定した水道水を供給するための水源の確保に努めています。

地下水開発

平成25年度末に完成予定の都市計画道路木太鬼無線に導水管を布設し、奥の池や奥の池周辺の井戸から御殿浄水場に導水して渇水時等の水源として活用します。



椋川ダム



平成29年度末に完成予定の「椋川ダム」は香川県との共同事業で施行しています。総貯水量1,056万m³で、その内200万m³が水道用水として利用されます。

主な建設改良事業

- 水質検査機器の購入
- 幹線道路の配水管布設事業
- 出水不良地区等解消事業
- 未給水地区解消事業
- 老朽配水管布設替事業
- 合併町との相互連絡管布設事業
- 浄水場等の施設整備事業
- 椋川ダム建設事業